

公益社団法人 全国学校図書館協議会
2021 年度（令和 3 年度）事業報告

☆印＝隔年実施事業（ ）＝定款第 4 条

公 1 青少年の読書活動を振興するための活動の普及及び啓発事業

ア 図書を選定

1. 学校図書館向き図書を選定……………【選定部】…(1)
小・中・高等学校図書館向き図書を選定する「図書選定会議」を実施した。
「図書選定会議」は、2021 年 4/12、4/26、5/10、5/24、6/14、6/28、7/12、7/26、8/23、9/13、9/27、10/11、10/25、11/8、11/22、12/13、2022 年 1/11、1/24、2/14、2/28、3/14、3/28 の 22 回開催した。全国学校図書館協議会(以下、「全国 S L A」という)が委嘱する選定委員が学校図書館向き図書を「全国学校図書館協議会選定図書」として選定し、その結果は機関誌『学校図書館速報版』で随時発表した。

イ 読書調査

1. 「学校読書調査」の実施……………【調査部】…(2)
青少年の読書推進や読書環境整備等に資するため、読んだ本の量、読んだ本の題名、読書生活などの実態を調べる「第 66 回学校読書調査」を毎日新聞社と共催で実施した。この調査は、全国から抽出した小学校 24 校 1,994 名、中学校 22 校 1,971 名、高等学校 46 校 4,902 名の 8,867 名を対象に 6 月に実施した。結果は、毎日新聞紙上および機関誌『学校図書館』（No.853 号）にて公表した。
2. 「学校図書館調査」の実施……………【調査部】…(2)
学校図書館の整備充実を図るため、学校図書館の蔵書、予算、職員、運営等の実態を調べる「2021 年度学校図書館調査」を実施した。この調査は、6 月に全国の小・中・高等学校から 3%を無作為抽出（1,129 校）に依頼し、小学校 301 校（回収率 49.4%）、中学校 161 校（同 48.9%）、高等学校 125 校（同 65.4%）から回答を得た。結果は機関誌『学校図書館』（No.854 号）にて公表した。
3. 市区町村における学校図書館図書整備費予算化の実態調査の実施……………【調査部】…(2)
学校図書館整備推進会議と共に、全国の市区町村教育委員会に対して、令和 3 年度の学校図書館図書の整備費約 220 億円を予算化するよう要請するとともに、全国の 1,741 市区町村教育委員会に対して 2021 年度の「学校図書館整備施策に関するアンケート」を 6 月に実施した。1,087 教育委員会（回収率 62.4%）から回答を得た。結果は機関誌『学校図書館』（No.859 号）にて公表した。

ウ 機関誌発行

1. 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の刊行……………【編集部】…(5)
機関誌『学校図書館』（月刊）および『学校図書館速報版』（月 2 回）を定期的に刊行した。『学校図書館』は、学校図書館や青少年の読書に関する実践や研究論文、タイムリーなテーマの特集記事等を掲載した。『学校図書館速報版』は、学校図書館や読書、学校図書館メディアに関する情報等を掲載した。

エ 各種コンクール

1. 青少年読書感想文全国コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)
読書の習慣化を図り、豊かな人間性や考える力を育むことなどを目的とした「第 67 回青少年読書感想文全国コンクール」を毎日新聞社と共催で実施した。
表彰式は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策によりオンライン配信にて開催した。
- ①「青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」
全国 S L A が委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「課題図書」として、「第 68 回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」18 冊を選定した。

2. 読書感想画中央コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)
読書の感動を絵画表現することで読書力や表現力を養うことを目的とした「第33回読書感想画中央コンクール」を毎日新聞社と共催で、山口県・九州地区を除く38都道府県で実施した。
表彰式は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策によりオンライン配信にて開催した。

①「読書感想画中央コンクール 指定図書」

全国SLAが委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「指定図書」として、「第33回読書感想画中央コンクール 指定図書」13冊を選定した。

オ 優良図書の普及

1. 「日本絵本賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)
絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展に寄与することを目的に「第26回日本絵本賞」を授賞した。日本絵本賞は、『こどもたちはまっている』（亜紀書房）、『このかみなあに？：トイレットペーパーのはなし』（福音館書店）、『ぼくがふえをふいたら』（岩波書店）。日本絵本賞翻訳絵本賞は、『虫ガール：ほんとうにあったおはなし』（岩崎書店）に決定した。
表彰式は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策により中止した。

①「えほん50」「日本絵本賞最終候補絵本」の選定・普及

全国SLA絵本委員会により、「2021えほん50」および「第27回日本絵本賞最終候補絵本」を選定した。「2021えほん50」は、こどもの読書推進会議の協力によりリーフレットを作成し、普及した。

②「絵本週間」の実施

優れた絵本文化の発展と、学校や家庭への絵本読書の定着を目指して「絵本週間」を2022年3月27日から4月7日まで実施した。

③「日本絵本賞ポップ交流サイト」の実施

読書活動として、「日本絵本賞最終候補絵本」を対象とした「日本絵本賞ポップ交流サイト」を実施した。投稿総数3,135編（小低913、小中981、小高928、中・高928、一般86）

2. 「夏休みの本（緑陰図書）」の選定……………【プロジェクト】…(1)
全国SLAが委嘱した選定委員により、夏休み中に子どもたちにぜひ読んでほしい図書として、「第54回夏休みの本（緑陰図書）」40冊を選定した。

3. 詩のあん唱運動の実施……………【プロジェクト】…(1)
読書活動の一環として第2回詩のあん唱コンクール(SOLASIDO)を実施した。応募総数416作品で、須藤翠衣子（東京都・聖心女子学院初等科6年生）に金賞を授与した。

カ SLBAの図書の選定

1. 「学校図書館図書整備協会（SLBA）選定図書」……………【プロジェクト】…(1)
全国SLAが委嘱した選定委員により、学校図書館の蔵書整備等を目的とした「一般社団法人学校図書館図書整備協会（以下「SLBA」という）」の委嘱を受けて「SLBA選定図書」を選定した。

キ 学校図書館出版賞

1. 「学校図書館賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)
学校図書館に関する運動、論文、実践の3分野での優れた実績を顕彰する「第51回学校図書館賞」を実践の部は、杉並区立済美教育センター学校図書館支援担当の「杉並区の学校司書配置の成果と杉並区立済美教育センター学校図書館サポートデスクの活動」に、学校図書館賞奨励賞は、実践の部で東京都立城東特別支援学校の「知的障害特別支援学校における学校図書館を活用した授業改善の実践～館長（校長）を中心とした体制整備とカリキュラムマネジメントのもとに」に授賞した。表彰式は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策により中止した。引き続き「第52回学校図書館賞」を募集した

2. 「学校図書館出版賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)
学校図書館向き図書の優良な出版企画に対して出版社を表彰することで学校図書館向き図書の

出版の振興を目的とした「第23回学校図書館出版賞」を『くらしをくらべる戦前・戦中・戦後』全3巻（岩崎書店）、『和食のだしは海のめぐみ』全3巻（偕成社）、『手話でつながる世界』全4巻（小峰書店）、『和紙ってなに?』全4巻（理論社）に授賞した。表彰式は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策により中止した。

公2 学校図書館を充実発展するための活動の普及及び啓発事業

《1. 研究・研修》

1. 学校図書館担当職員のためのスキルアップ及びリカレント教育の実施……………【研究部】…(1)
司書教諭や学校司書等を対象にした「学校図書館実践講座」は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため対面による開催を見合わせたが、「SLA 情報局 Online」として情報発信をした。学校図書館指導主事の資質・能力向上をめざし、文部科学省委託事業「指導主事の資質・能力向上と指導主事ネットワークの構築に関する取組」を実施した。また、指導主事の手引「1人1台端末時代の学校図書館担当指導主事の仕事と知識」を作成し全国の都道府県教育委員会へ配布した。

学校図書館の情報資源を活用し、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支え、情報活用能力を身に付けさせる授業展開のすそ野を広げることを目的として、「情報活用授業コンクール」を実施し、優秀賞に「杉並区立高井戸東小学校」「富岡町立富岡第二小学校」「高森町立高森中央小学校」「袖ヶ浦市立昭和小学校」「京都学園中学校高等学校」「杉並区立宮前中学校」「関東学園六浦中学校・高等学校」と「渋谷教育学園渋谷中学高等学校」に授賞した。また、情報活用推進校は、「関東学園六浦中学校・高等学校」に授賞した。

「学校司書研修講座」は、オンライン配信で全7領域42講座を開催し、延べ199名が受講した。

2. 「学校図書館セミナー」の開催……………【研究部】…(2)
図書館総合展の主催・共催フォーラムにおいて、学校図書館セミナー2021「資料・情報・ICT教育と学校図書館」をオンラインで開催した。
3. 学校司書資格及び研修制度の研究……………【プロジェクト】…(2)
学校司書の資質の向上を図るための研修制度のあり方に関する研究成果については、公表できなかった。

- ☆4. 「地区学校図書館研究大会」の開催……………【プロジェクト】…(2)
隔年で開催している地区学校図書館研究大会を次の9地区で開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、地区の状況に応じて、オンライン開催または誌上发表となった。

第44回	北海道学校図書館研究大会	北海道函館市	9月23日～26日	オンライン (収録→配信)
第40回	東北地区学校図書館研究大会	宮城県仙台市	11月26日～26日	オンライン (ライブ配信/一部収録→配信)
第36回	関東地区学校図書館研究大会	茨城県水戸市	8月18日～24日	オンライン (8/18ライブ配信/同時収録→配信)
第31回	北信越地区学校図書館研究大会	富山県富山市	10月1日～22日	オンライン (収録→配信)
第40回	東海地区学校図書館研究大会	岐阜県岐阜市	8月11日～31日	オンライン (収録→配信)
第47回	近畿学校図書館研究大会	和歌山県和歌山市	10月1日～15日	オンライン (収録→配信)
第32回	中国地区学校図書館研究大会	広島県広島市	11月4日	公開授業/市内限定対面 分科会・全体会(誌上)
第30回	四国地区学校図書館研究大会	徳島県阿波市	10月29日	対面
第40回	九州地区学校図書館研究大会	熊本県熊本市		誌上

《2. 資料・情報提供》

1. 写真ニュース『としょかん通信』の刊行……………【編集部】…(5)
学校図書館や読書に関する情報および学校図書館の利用に役立つ情報を掲示用写真ニュースとして、月刊『としょかん通信』（小学生版・中高校生版の2種）を刊行した。
2. 各県SLAのウェブサイト作成……………【プロジェクト】…(3)
全国SLAのウェブサイト上に各県SLAのウェブサイトを開設し、県SLAの情報提供、研究会・研修会の募集、県SLA組織内の連絡等の利用に供した。
3. 各県SLA・各地区SLAへの訪問の実施……………【プロジェクト】…(3)
新型コロナウイルス感染症蔓延防止策による移動制限などで、組織訪問は行えなかった。
4. 各県SLA作成の刊行物の監修・作成協力等の実施……………【プロジェクト】…(3)
刊行物の監修・作成協力等により内容の充実と刊行物の普及に努めた。
5. Webサイトメールマガジンの活用……………【プロジェクト】…(5)
各県SLAおよび会員へ速やかな情報配信のためにメールマガジンによる情報発信を活用した。
6. 啓発図書の刊行……………【編集部】…(5)
 - ①『心に届く読み聞かせ：プロが教える読み方の基本』（仮題）は編集集中である。
（アナウンサーの目から見た読み聞かせの基本を紹介する単行本）
 - ②『総合的な学習の指導法』（仮題）の刊行は、著者の都合と需要を考慮して断念した。
（総合的な学習の指導法に関する新たなカリキュラムに対応した単行本）
 - ③『その蔵書、使えますか』増補改訂版は「学校図書館図書廃棄規準」の改訂に伴い、全面改訂に変更して編集集中である。
（学校図書館入門シリーズ第3巻『その蔵書、使えますか』の部分改訂）

《3. 学校図書館の充実発展》

1. 学校図書館振興の政策提言の推進
第5次「学校図書館図書整備等5か年計画」による予算化運動及び、高等学校の図書整備施策策定に向けて活動を展開した。第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」の実現に向けて、学校図書整備推進会議のもと「学校図書館整備プロジェクト」により活動した。
2. 基準類の検討及び改訂・普及……………【プロジェクト】…(6)
「学校図書館図書廃棄規準」を改訂した。
3. 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の活用と普及……………【プロジェクト】…(3)
学校図書館に関する研究を深めるため、各県SLAの協力を得て、機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の活用と普及活動を行った。
4. 各県SLA事務局長会議の開催……………【プロジェクト】…(3)
全国SLAの事業、組織、活動について連絡調整及び情報交換を図るため各県SLA事務局長会議を2022年2月3日（木）にオンラインで開催した。
5. 全国SLA研究協力員制度の検討及び委嘱……………【プロジェクト】…(3)
全国SLAが行う研究活動や研究成果の普及を図る「全国SLA研究協力員制度」について検討し、各県SLAから研究、実践に熱心な教職員の推薦を受けて委嘱するが、今年度は推薦が無かった。
6. 各県SLAへの研究助成……………【プロジェクト】…(3)
各県SLAの研究活動を支援するために研究助成を行った。

《4. 研究視察》

1. 国内・海外学校図書館研究視察……………【プロジェクト】…(3)
本年度は実施しなかった。

《5. 事業の活性化》

1. 全国SLA学校図書館スーパーバイザー制度の拡充……………【プロジェクト】…(1)
全国SLA学校図書館スーパーバイザーによる指導・助言により各地域や各校の学校図書館の活性化を図った。
2. 公益社団法人の財政基盤の健全化……………【プロジェクト】…(6)
新事業の展開と赤字事業の削減等により、公益社団法人として財政再建の基盤整備を進めるために「財政健全化委員会」にて具体的方策を検討した。
3. 学校図書館報告会の開催……………【プロジェクト】…(6)
特別会員を招いて開催する、教育や学校図書館、情報メディアなどに関する報告会は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため中止した。

4. 学校図書館研究資料室の整備充実……………【プロジェクト】…(6)
学校図書館に関する資料の整備充実、コンピュータによる蔵書の管理と活用等の研究を進めた。

附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無い。